

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	市民生活部人権・文化国際課		担当課長名	上松 弘子
(※)第2期実施計画の事業名	男女共同参画啓発事業		財務会計上の事業名	男女共同参画啓発事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	2101	1	財務会計上の短縮番号	1000
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち		
	節	第10節男女共同参画社会の実現		
	項目	項目1あらゆる分野への男女の参画促進		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的(どのような結果を得るか)	男女共同参画社会の実現(市民意識の高揚等)
事業の対象(誰を、何を)	市民
事業の手段・方法(どのように)	「男女共同参画社会をめざす市民セミナー」(平成28年度までは市民フォーラム)を実施。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 11 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	男女共同参画社会基本法、池田市男女共同参画推進条例(第9条)

2 事業費等

区分	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	元年度(予算)	H30/H29					
事業費(千円)	181	919	98	98	10.7%					
主な内訳	報償金	125	90	60	60	66.7%				
	印刷製本費	32	30	26	31	86.7%				
	消耗品	24	24	11	3	45.8%				
人件費(人・千円)	0.33	2,442	0.55	3,800	0.31	2,028	0.31	2,028	56.4%	
内訳	正職員	0.33	2,442	0.45	3,420	0.21	1,638	0.21	1,638	46.7%
	再任用短時間勤務職員		0	0.10	380	0.10	390	0.10	390	100.0%
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A	2,623	4,719	2,126	2,126	45.1%					
財源	国・府支出金	161	139	80	91	57.6%				
	地方債					-				
	その他()					-				
	うち受益者負担 B					-				
一般財源 C	2,462	4,580	2,046	2,035	44.7%					
一般財源比率 C÷A	93.9%	97.1%	96.2%	95.7%	99.2%					
受益者負担率 B÷A					-					
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し									
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合:今後の直営部分のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	市民セミナーの行事委託
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	委託することにより事業経費が増加する。
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内 容	単 位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	目標値(H30)	元年度(予定)
指 標 値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	市民セミナーの参加者	人	30	101	55	150	100
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況	<input type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由	開催回数が3回から2回になったため、参加者が減ったので判断できない。							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input type="checkbox"/> A 有効である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)	小規模な市民参加型のセミナーに形式を変更し2年目になるが、開催回数が3回から2回に減ったため参加者が減少した。予算を増やすことができないので、参加者を増やすためには、セミナーの形式や開催日など改善する必要があるため。						

予算

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 29 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	規模を縮小し、市民参加型のセミナー形式に変更した。	
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	形式や回数の変更で参加人数は減少したが、参加者のアンケート結果では、男女共同参画に対する理解が深まったという答えが多数あり、事業の成果はあったと判断できるので、今年度もこの形式で事業を実施する。	
現在抱える課題とその対策	課 題	今なお社会においては、固定的性別役割分担意識など、男女共同参画社会実現のための阻害要因が根強く残っている。その阻害要因を払拭し、1人でも多くの市民に男女共同参画について関心を持ってもらい、市民意識の改革を行うこと。
	対 策	男女共同参画についての啓発活動を、継続的に広範囲に実施する。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	セミナーの形式など改善を加えながら、今後もこの形式で継続して事業を行い、より広範囲な啓発に努める必要がある。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	市民生活部 人権・文化国際課	担当課長名	上松 弘子
(※)第2期実施計画の事業名	ドメスティック・バイオレンス対策事業	財務会計上の事業名	ドメスティック・バイオレンス対策事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	2103 1	財務会計上の短縮番号	1003
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち	
	節	第10節男女共同参画社会の実現	
	項目	項目3女性の人権尊重	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	DV被害者の安全確保
事業の対象 (誰を、何を)	DV被害者等(市民)
事業の手段・方法 (どのように)	DV被害者がDV防止法の一時保護を直ちに受けられない場合、池田警察署や大阪府池田子ども家庭センターと連携をとりながら、宿泊費、交通費等の支給を行う。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 17 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律、池田市男女共同参画推進条例(第15、16条)

2 事業費等

区 分		28 年度 (決算)		29 年度 (決算)		30 年度 (決算)		元年度 (予算)		H30/H29
事業費(千円)		0		0		0		185		-
主な内訳	扶助費	0		0		0		185		-
										-
人件費(人・千円)		0.34	2,516	0.43	2,888	0.29	1,482	0.29	1,482	67.4%
内訳	正職員	0.34	2,516	0.33	2,508	0.09	702	0.09	702	27.3%
	再任用短時間勤務職員		0	0.10	380	0.20	780	0.20	780	200.0%
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		2,516		2,888		1,482		1,667		51.3%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他()									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	2,516		2,888		1,482		1,667		51.3%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
	上記の内容	受益者負担がないため。								

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	DV被害者の安全のため、秘密保持の必要性が高い事業であるから。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	28 年度	29 年度	30 年度	目標値 (H30)	元年度 (予定)
				(実績)	(実績)	(実績)		
指 標 値	☆ <input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	DV被害者等の緊急一時保護	人(延べ)	0	0	0		1
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない				
選択の理由				目標値はなく、28年度から事案が発生していないため				
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか		<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない)	<input type="checkbox"/> B 改善の余地がある	<input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)			
	事業は効率的に実施できているか		<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない)	<input type="checkbox"/> B 改善の余地がある	<input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)			
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)		指標値はなく、事業費にも大きな変化はないが、いつ発生するか分からないDV事案に対応するために有効な事業であるから。					

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	DV事案の発生は、大きな社会問題となっている。このような事案にいつでも対応できるように、体制を整えておく必要があるから。	
現在抱える課題と対策	課 題	DV被害者の安全確保
	対 策	いつ発生するか分からないDV事業に対し、被害者の安全確保のために、事業を継続し、庁内外の関係機関と連携強化を図る。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	DV被害者の安全確保のため、大阪府一時保護所への同行支援を継続していく。	